

スペアレス商品

スペアタイヤを必要としない「スペアレス技術」の開発により省資源化と軽量化を実現していきます。

2014年に発売予定～「超高精度」を追求した次世代新工法「NEO-T01」による第一弾商品～

タイヤ製造技術における「超高精度」を追求した次世代新工法「NEO-T01」により製造されたプレミアムランフラットタイヤ「SP SPORTMAXX 050 NEO」は、2014年の発売を予定しています。「NEO-T01」は、タイヤの形状を限りなく真円に近づけ、快適性能と環境性能、安全性能を高次元でバランスさせた、革新的なタイヤ製造工法です。「SP SPORTMAXX 050 NEO」は、同工法による第一弾商品となります。



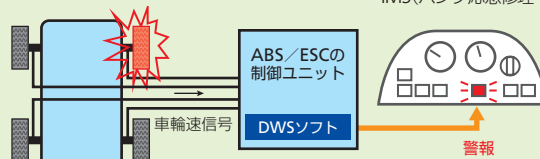
プレミアムランフラットタイヤ
「SP SPORTMAXX 050 NEO」(プロトタイプ)

安全性を高めるスペアレス技術

ランフラットタイヤに加え、タイヤ空気圧低下警報装置(DWS)およびパンク応急修理キット(IMS)を用意し、多様な車種・用途に対応しています。



IMS(パンク応急修理キット)



タイヤ空気圧低下警報装置(DWS)の原理

「SP SPORTMAXX 050 NEO」への採用技術

メタルコア工法：実際のタイヤの内面と同じ形状をした金属の成形フォーマーに、タイヤの各種部材を精度良く貼り付けることにより高次元の「真円性」を実現。従来工法に比べ、タイヤの高速ユニフォミティを大幅に改善しました。

高剛性構造：これまで使うことのできなかつた強靱な材料を採用できるようになり、高速走行時の形状変化を大幅に抑制しました。

軽量化：精度向上により最適な素材の配置が可能となり、タイヤ重量の軽量化を実現したことで転がり抵抗を低減し、低燃費性能が向上しました。



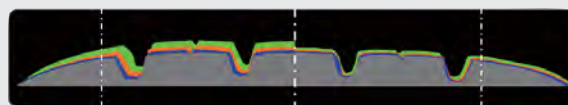
メタルコア工法



全自動連結コントロールによる軽量化

従来工法

NEO-T01



タイヤ高速回転時における外径変化イメージ

